

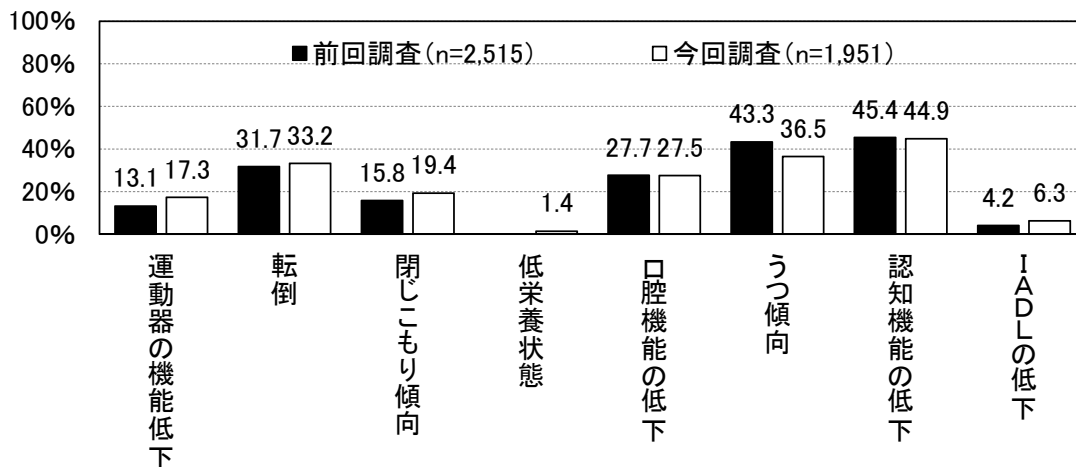
リスク判定（差し替え資料）

■ 国の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の手引き等を踏まえ、要介護状態になる各リスクについて以下のように整理しています。

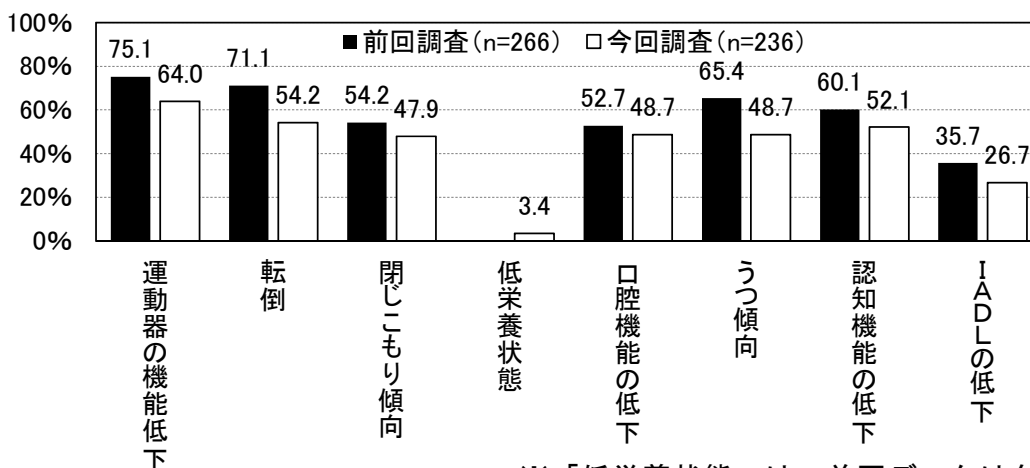
リスク等	判定項目
運動器の機能低下	問2-(1)～(5)の5項目のうち3項目以上で該当する選択肢を回答した場合
転倒	問2-(4)で該当する選択肢を回答した場合
閉じこもり	問2-(6)で該当する選択肢を回答した場合
低栄養	問3-(1)でBMIが18.5以下で、問3-(7)に該当する場合
口腔機能	問3-(2)～(4)の3項目のうち2項目以上に該当する場合
うつ傾向	問7-(3)～(4)の2項目のうち1項目でも該当する場合
認知機能の低下	問4-(1)に該当する場合
IADL*	問4-(4)～(8)の5項目で「できるし、している」または「できるけどしていない」を1点とし、合計値が3点以下であればリスク有り

※買物、洗濯、電話、薬の管理など活動的な日常生活を送るための動作のことを、「手段的日常生活動作（Instrument Activity of Daily Living：IADL）」といい、その自立度から、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができます。

P59【要介護状態になるリスクがある人の割合（自立：前回比較）】



P118【要介護状態になるリスクがある人の割合（要支援：前回比較）】



※「低栄養状態」は、前回データは欠損